

	評価項目（指標）		○実践内容 ◆具体的目標	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析による成果と課題	学校関係者 者評定	学校関係者評価コメント
確かな学力の向上	1	分かる！・できる！授業の展開	○チェックポイントに基づく授業改善 ○児童一人一人の課題の明確化 ○基礎的内容の繰り返し指導 ○ICT機器の効果的な活用 ◆学校評価（基礎学力項目）の全体平均3.2以上	○授業研究会（主題研究）を中心とした日々の授業改善 ○授業内における漢字・計算を繰り返し練習する時間の設定と児童一人一人の実態把握 ○朝の時間、（タブレット等を活用して）隙間時間を活用した個別指導の充実 ○定期的なオンライン授業の実施	A	B	◆学校評価の結果・・・3. 5 ○県の政策をもとに、研究授業を通して授業改善を行っている。また、授業内で習熟を図る時間を設定した授業展開をすることを職員研修で共通理解し、実践してきた。 ○1・2年生、4年生は道徳、5・6年生は道徳と社会において尾向小学校とオンライン授業を行っている。児童は多様な意見を交流することができた。	B	・ユニット学習（オンライン学習）は、互いの顔が見れて、仲良くなることができるし、話し合い活動もできるのでとてもよい。 ・ユニット学習による複式学習対策の評価を行い拡充できていくことを願います。 ・タブレットに使い慣れていることがよく分かった。ただ、タブレットを使うことで視力の低下にならないか、文字を書くことが減るのではないかが心配である。 ・習熟を図る時間の設定により効果が得られることを期待します。 ・日々の授業に集中してほしい。
	2	読解力の向上	○読解力の知識・技能の指導と要約活動推進 ○読書活動の推進（目標冊数1500） ○落語指導の充実 ◆学校評価（読解力項目）の全体平均3以上	○問題集を活用した計算・読解力向上と要約活動推進 ○読書目標の設定と、縦割り班ごとの読書量の数値化 ○隙間時間の読書を奨励 ○ワークシートを活用した落語解釈の指導の工夫と5つのポイントを生かした表現力の向上	B		◆学校評価の結果・・・2. 7 ○朝の時間や家庭学習で、読解力向上を目的とした問題集や計算問題に取り組んできた。今後も継続していきたい。 ○縦割り班ごとの読書量を数値化することで、進んで本を借りる児童の姿も見られた。今後は、村の「飛び出す司書」の方に図書館経営について助言を頂き、児童が本に触れる機会を増やしていく。		
	3	学習態度・学習習慣の定着	○ていねいな文字の指導 ○家庭学習の充実 ○前日準備の徹底（忘れ物0） ◆学校評価（学習習慣項目）の全体平均3以上	○立腰や鉛筆の持ち方、ノートの使い方等の丁寧に書く指導と学習帳や自学帳の提示・紹介（回る漢字ノート） ○進んで取り組む児童への積極的称賛と個に応じた声掛けや指導の工夫 ○連絡帳への前日準備の明記と自己評価 ○家庭学習の大切さや必要性について考える機会の設定	C		◆学校評価の結果・・・1. 8 ○今後、全校で1冊の漢字ノートを回して書く家庭学習を取り入れることで、丁寧な文字を書くという意識を高めていきたい。 ○家庭学習については、取組が不十分な児童も見られた。懇談等で呼びかけていく必要がある。		
豊かな心の育成	1	基本的生活習慣の定着	○「よい子の約束」「不土野っ子あたりまえのこと4ヶ条」の徹底 ○立腰指導の継続と工夫改善 ◆学校評価（基本的生活習慣項目）の全体平均3以上	○不土野小よい子のやくそく・不土野っ子あたりまえ4ヶ条の周知と実践 ○立腰の体に与える影響の周知と立腰の継続維持	B	B	◆学校評価の結果・・・2. 8 ○現場指導を行い、その都度できるまでやり直しをすることで、「よい子の約束」や「不土野っ子あたりまえ4ヶ条」が少しずつ定着するようになった。 ●チャイム黙想、丁寧な言葉遣いについては依然として乱れることがあるので指導を継続する。	B	・「抱っここの宿題」は、親子の愛着形成にとってもよい取組なので、今後もぜひ続けてほしい。 ・「よい子の約束」や「不土野っ子あたりまえ4ヶ条」を一人一人が理解し、自ら実行できるよう指導をお願いします。 ・相手を思いやると、かける言葉も優しくなるのではないかな。 ・命を大切にする教育は大切である。
	2	思いやりの心と命を大切にする教育の推進	○縦割り班の活動の充実 ○道徳科の工夫・改善と評価 ○「抱っここの宿題」による自己肯定感の醸成 ◆学校評価（思いやりに係る項目）の全体平均3以上	○望ましい人間関係の醸成を目指した教育相談アンケートの実施 ○教育相談アンケートの結果の共有、対策の共通実践による思いやりの言動・態度の育成 ○「抱っここの宿題チェックカード」の活用	B		◆学校評価の結果・・・2. 9 ○友達に対する言葉遣いや相手への心ない言葉を投げかける児童については、その都度指導を重ねた。 ○児童の言葉遣いについては改善傾向にある。 ○友達の手伝いをしたり、下級生に対して優しい言葉を投げかけたりする様子が見られている。		
	3	危機管理と安全指導の徹底	○危機管理マニュアルの改善 ○安全点検と迅速な修繕 ○児童の安全意識の向上 ◆学校評価（安全に係る項目）の全体評価3.2以上	○危機管理マニュアルの改善と周知徹底（洪水時避難計画・避難所運営マニュアルの追加） ○児童・職員による安全点検（毎月）の工夫・改善	A		◆学校評価の結果・・・3. 1 ○定期的な避難訓練の実施や安全点検を職員・児童全員で行うことで安全意識の向上を図ることができた。 ○今年度、施設の不備などによる、児童の怪我等が発生していない。 ○台風で倒れた施設などを地域の方の協力によって迅速に修繕することができた。		
たくましい体の育成	1	体力の向上	○個に応じた目標の設定 ○体育の時間や休み時間の運動量確保 ○持久力、握力、柔軟性が向上する指導 ○運動の日常化及び体力向上 ◆柔軟性の調査で、4月から向上した児童100%	○外遊びや合同体育の実施、認定証の活用等を通した体力向上の取組 ○体育的行事の目標設定と振り返り、主体的な行事への取組 ○教具を安全に使うための整備や整理整頓による怪我や事故防止 ○一輪車・縄跳び検定表の活用	B	B	◆学校評価の結果・・・3. 3 ○職員が戸外に出て児童と一緒に体力や技能を高める運動を行うことで児童の体力面での向上が図られた。 ○意図的に児童が体力を高めるための取組を設けることで、児童が日常的に運動に親しむための計画を立案・実施を行えた。 ●感染症対策等で児童が地域で活動する機会が減少傾向にある。	B	・昼休みに、子どもたちが元気に遊ぶ声が聞こえてくるので、嬉しい。 ・昼休みの外遊びは、体力向上につながっている。 ・早寝早起き朝ご飯が定着してきていることは喜ばしいことと考える。 ・虫歯治療を含め、家庭との連携を引き続きお願いします。 ・早寝早起き朝ご飯は、家族ぐるみの取組が必要だと思う。（歯磨きも含む） ・食育に食生活改善推進委員の活用をはかってみてはどうか。
	2	健康の保持・増進	○早寝・早起き・朝ご飯の生活リズムの習慣化 ○歯磨き指導の充実 ◆学校評価（生活リズムに係る項目）の全体平均3.3以上 ◆むし歯治療率100%	○毎朝の健康観察時のチェック ○保健日よりや治療報告による保護者への啓発 ○保護者と連携した生活習慣についての個別指導 ○毎日の給食後の歯みがき指導（H-1グランプリ） ○学校歯科医や養護教諭による歯みがき指導（月1回の染め出し） ○個別の健康相談での治療報告	B		◆学校評価の結果・・・3. 4 ○毎朝のチェックで早寝早起き朝ごはんが身に付いてきた。 ○はみがき指導を充実させ、丁寧なはみがきが身に付くとともに、自分の歯を自分で守るという意識が向上した。今後は休みの日にも続けられるように家庭との連携を図っていく。 ○むし歯治療率…60%（保有者5人。治療済3人、治療中2人）再度、個別に治療報告を行っている。		
	3	食育の推進	○食に関する指導と「弁当の日」の確実な実施 ◆学校評価（食に関する項目）の全体評価3.5以上	○給食時間の食事のマナー指導 ○給食一口メモなどを活用した食についての指導 ○段階をふまえた「弁当の日」の取組	A		◆学校評価の結果・・・3. 5 ○「弁当の日」は、保護者の協力を頂き、児童が自分のレベルに合わせて挑戦することができた。 ○食事のマナーは少しずつ改善されているが箸の持ち方や姿勢などの課題があるため、今後もその場での指導を徹底していく。		
開かれた学校づくりの推進	1	積極的な情報発信	○学校だより、学級通信の定期的な発行 ○HPの充実 ◆学校評価（情報発信に係る項目）の全体平均3.4以上	○PTA・学校評議員会の計画的な実施（年間2回） ○学校HPの毎日更新と内容の充実（学校目標との関連記載） ○役員会・常会等での積極的な情報発信と協力依頼	A	A	◆学校評価の結果・・・3. 6 ○毎月発行の学校だよりやHPで児童の様子や教育活動の意義を発信することができた。 ○役員会では、学校の立場をしっかりと伝え、地域と連携して教育活動を行うことができた。	A	・学校だよりは楽しみにしている。 ・民謡・落語も含め、地域活動がしっかりとできていた。 ・神楽など、地域においても子どもの存在は大きく、しっかり活動が行われている。 ・コロナ禍で対応が難しい中、趣向を凝らした活動が行われていると思えます。
	2	地域人材の積極的活用	○民謡・落語の外部指導者の招聘 ○地域学習の充実（総合的な学習の時間等） ◆学校評価（地域連携に係る項目）の全体平均3.3以上	○民謡・落語指導者との連絡・調整（活動2ヶ月前に完了） ○「総合的な学習の時間」の内容検討及び支援（担当職員） ○地域人材の掘り起こしと連絡体制の整備・充実	A		◆学校評価の結果・・・3. 4 ○ひえつき節や落語に外部の指導者を招き、十分な活動ができた。 ○魚釣り教室や魚しよく体験、ふれあい参観など様々な活動で地域の方の協力を得ることができた。また、神楽について地域の方々に来校していただき、詳しくお話を聞くことができた。		
	2	地域愛の高揚	○地域の行事への積極的参加と、民謡・落語指導の充実 ◆学校評価（地域愛に係る項目）の全体平均3.2以上	○地域行事に関する資料の収集と児童への理解推進 ○ふれあい参観日・学習発表会等の内容充実（相手を意識した発表の工夫等）	A		◆学校評価の結果・・・3. 6 ○神楽やひえつき節、産業等、地域に関わる活動や学習を通して、地域の方と交流したり、不土野地区のよさを実感したりすることができた。		

【校長所見】
○ 本年度は、オンライン授業を定期的に行い、全学年児童が、尾向小学校児童との道徳の学習ができた。また、5・6年生は、社会科のオンライン授業を行った。お互いの意見交換で、学びが深まるとともに、複式解消にもつながった。
また、本年度も一人年間2回の研究授業を実施したり、情報教育などの授業公開をしたりすることで、職員の指導力も向上してきた。
○ 基本的生活習慣は家庭と連携していくとともに、「不土野っ子あたりまえ4か条」については、次年度も継続して重点指導を行い改善を図っていく。さらに、丁寧な言葉遣いのできる児童、自己肯定感を感じている児童の育成を目指したい。
○ 保健についての手立てをしっかりと実践できたが、むし歯治療率が現在60%であり、家庭との連携が必要である。今後も個別報告を継続していきたい。体育の時間だけではなく、昼休みも全児童が外に出てよく遊んでいる。今後も運動をする楽しさを味わわせ、生涯スポーツを楽しむ素地を作りたい。
○ 学校便り・学校HPを通じて教育活動の意図や成果を発信することができた。地域の方が、学校の教育活動に積極的に協力してくださっている。今後も地域連携をさらに深めながら、不土野愛の高まった児童を育成していきたい。